

生活支援体制づくり協議体（地域包括支援センター北遠中央
担当圏域レベル）開催報告書

1 開催日時	令和 7年 11月 21日（金） 14時00分 ～ 15時30分
2 開催場所	龍山森林文化会館 ホール
3 参加者	31名 (委員5名、地区部会委員11名、事務局6名、関係機関9名) ※今回は各地区部会の全委員へ参加募集を行った
4 協議内容	<p>1 開会</p> <p>2 挨拶 天竜福祉事業所 長寿保険課長</p> <p>3 地区部会の取り組みについて</p> <p>【佐久間地区】</p> <ul style="list-style-type: none">・さくま安心だ和いネットについて <p>【水窪地区】</p> <ul style="list-style-type: none">・水窪あんしんネットワークについて <p>【龍山地区】</p> <ul style="list-style-type: none">・たつやマルシェについて、それぞれ、資料を基に紹介。 <p>4 協議事項・検討事項</p> <p>地区混合で3つのグループに分かれ、下記テーマの地域課題について話し合った。</p> <p>テーマ：地区部会の取り組みを今やっていない人にどうしたら知ってもらえるか？ ～私たちの“応援団”を作ろう！～</p> <p>【佐久間】</p> <p><u>活動課題</u></p> <ul style="list-style-type: none">・ネットワークに加入していても、連絡会に参加する団体が少ない・活動を継続・発展させるための推進力（人手や動き）が不足している・活動内容や目的が、地域住民に十分伝わっていない <p><u>応援団を作る為のアイデア</u></p> <ul style="list-style-type: none">・活動者同士が情報を共有できる仕組みをつくる・地区ごと、業種ごとなど、小グループ単位で活動できる仕組みをつくる・業種や立場に応じた役割分担を明確にする・各団体へ「どのような内容であれば連絡会に参加したいか」アンケートを取る <p><u>まとめ</u></p> <ul style="list-style-type: none">・加入団体同士が情報共有できる仕組みをつくること・企業に対して、地区毎 or 業種にあった役割分担をし、小グループから始められるようにする

【水窪】

活 動 「ささえあいポイント事業登録研修会」

課 題

- ・ささえあいポイントの登録者はいるものの、実際に活動に参加していない人がいる
 - ・制度や仕組みそのものが十分に知られていない
 - ・登録手続きが面倒という印象を持たれやすい
 - ・「やりがい」だけでは、継続的な参加につながりにくい
 - ・若い世代の参加が少なく、学業や仕事が忙しいこと、時間的制約が参加の壁になっている
- しかし、授業や部活の取り組みとしてボランティア活動に積極的

応援団を作る為のアイデア

- ・近所付き合いの中で、互いに声をかけ合いながらボランティア登録を行う
- ・特定の人ではなく、地域全体で取り組む意識を持つ
- ・学校や地域行事を通じて、地域ぐるみで制度を周知する
- ・シニアクラブを巻き込む
- ・制度自体をブラッシュアップする（ポイント増額、付与を時間ではなく実績にするなど）

まとめ

- ・学生へのアプローチを行うこと
- ・シニアクラブを巻き込むこと
- ・事業の魅力を上げること
- ・世代や立場に応じた参加の形を用意することが、水窪地区における支え合いの輪を広げる鍵になる。

【龍山】

活 動 「たつやマルシェ」

課 題

- ・男性の参加者が少ない（女性の参加者は安定している）

応援団を作る為のアイデア

- ・ゲーム、脳トレ、手仕事、農作業など、潜在的な関心層が興味を持ちそうな内容を実施する
 - ・「男の〇〇講座」企画の実施
 - ・活動者（出店者）側に男性が居ることで、主体的に参加してくれるようになる
- 作った農作物を「出店側」として販売する
- ・男の料理教室の参加者で何か出店する
 - ・スマホ相談会（操作・設定など）
 - ・ステージの活用（発表・実演・参加型企画）

まとめ

- ・男性に向けたアプローチを行い
- ① 出店者側になってもらう
 - ② おつまみになりそうなものの販売など、居酒屋的なコーナーを作る

佐久間地区

活動: さくま安心
だ和i'ネット

私たちの
"応援団"
を増やそう!

- 加入しているも参加する団体が少ない
- 活動の推進力が足りない
- 活動内容が伝わらない

情報提供者にその後の経過を報告する

- 活動者同士で情報共有できる仕組みをつくる
- 手間をかける
- 地区ごと、業種ごとなど小グループ単位で活動できるように声かけする
- 業種に合わせた役割分担
- 加入団体フェアをとりかた

参加したいと思うのを聞く

こうやって
私たちの"応援団"を増やせるかも!
加入団体同士で情報共有できる仕組みをつくる
企業に対して、地区ごと、業種ごとに役割分担をし、小グループから始めるようにする

水窪地区

活動: ささえあいポイント
事業登録研修会

私たちの
"応援団"
を増やそう!

- ささえあいポイントの登録者が多い
- 登録していても不参加 (男性の登録者)
- 積極的アプローチしてない
- 若者の参加が少ない (中・高生や毎年の研修生)
- 制度を知らない (高校生や学生が登録して活動していない)
- 学校もボウリング活動が積極的に行っている

近所付き合いを互いにボウ登録
龍山は口弱
地域全体で取り組む

学校や地域にお知らせ

シニアクラブと連携
(水窪は全世代のクラブ)

世話役へのポイント付与

ポイントの増額(魅力を上げる)

評価方法
(時間から実績へ)

こうやって
私たちの"応援団"を増やせるかも!

学生へのアプローチ
シニアクラブと連携
事業の魅力を上げる

龍山地区

活動: たつやマルシェ

私たちの
"応援団"
を増やそう!

男性の参加が少ない

男性をいばってほしい

ゲーム、服、平汁、花、農作業、興味のあふく

買物物は女性を中心? 一もそそり4人出ているのはスゴイ!

祭りには男性が9割

高齢男性に向けて

男性向け商品を増やす

作業農作物と出店側に

居酒屋マルシェ

料理教室

出店側へ

こうやって
私たちの"応援団"を増やせるかも!

男性に向けて
出店側に...
居酒屋マルシェ...

5 閉会

5 今後の見通し
必要な対応

今回出た意見を各地区へ持ちかえり、既存の活動にどう活かせるか話し合っていく。

次回の2層協議体では、今回の内容を各地区で共有した結果の確認を行いつつ、来年度の方向性について検討していく。